

## <インフルエンザワクチン>

インフルエンザ 流行を前に予防接種の時期がやってきました。

今年の中身が変わったという事で価格も高くなってる所も多いですが、何が変わったのでしょうか？

- ・三価→四価って???

インフルエンザウイルスは大まかに分類するとA型、B型、C型に大別され、ワクチンは主にA型、B型に対応してます。これはA型とB型が季節性に流行しやすい為です。同じA型の中でも抗原性の違いにより種類が144種類に分類されこれを亜型といい、更に細分化したものを株と呼びます。B型では亜型の分類はありませんが、株の分類はされてます。

インフルエンザウイルスの流行は多くの型や株が同時に流行する事は殆どなくて、1シーズンにA型で2種類、B型で2種類位と言われてます。近年では特にA（H3N2）が主流で、それとA（H1N1）、Bの山形系統とビクトリア系統の株の混合流行が見られます。昨年までのワクチンはA型2種類、B型1種類の三種類（価）に対応するものだったのが、B型も2種類に対応した四種類（価）になりました。

これにより製造原価が上がりワクチン自体の金額が上がって全体的な値上げに繋がってしまってます。

金額が上がった事により接種を控える方が増え、インフルエンザが大流行するかもという予測も出てます。強制ではないかもしれませんが、重症化を防ぐ為にも摂取する事をお勧め致します。